

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	5
事業名	幽静館維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	5
政 策	6 人生を豊かにするために	課名	総務課		
施 策	6-3 文化力の向上	係名	総務管財係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	郷土愛の信念を貫いた政治家である木村家三代の功績にまつわる資料を展示し、維持管理することで、住民の郷土に対する認識を深め、歴史を大切にし豊かな人を育む。
事業内容		幽静館の施設管理及び展示物の管理や町内外へのPR、来館者の受付に関する事務などを行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				1,098		1,120		0	
財源 内訳	直接事業費A			816		838		0	
	うち一般財源			816		838		0	
人件費（千円）B				282		282		0	
内訳	一般職員（人・千円）			0.04	264	0.04	264	0	0
	臨時職員（人・千円）			0.01	18	0.01	18	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	D大幅に削減すべきである
総合評価	Ⅶ 終 了（事業を終了すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	自治会への無償譲渡をするため協議継続	③取組の課題	幽静館の有効活用に向けた検討を行う必要がある。
②R5年度に実施した取り組み	幽静館の無償譲渡をするための協議を行ない、今後、利用形態を変え、民間等へ貸し出すことで了承を得た。	④今後の改善計画	自治会と協議し、民間の能力の活用を含め、施設の有効活用の検討を進める。